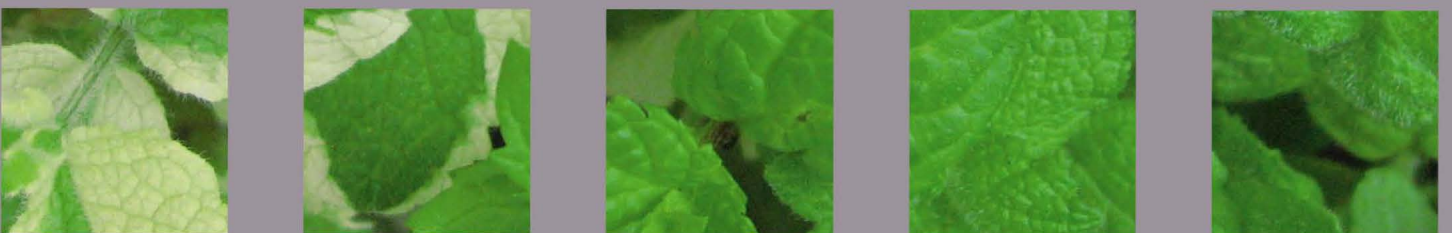


と き：2008年09月01日(月) 14:00～

と ころ：北見市留辺薬町昭栄第一区(八号線と九号線の間地点)



昨年度より検討を進めてきた「ハーブ国道プロジェクト」。国道周辺の雑草地にハーブを植えることは、かつて北見地域において世界の70%ほどのハッカを生産していたという地域の特性を活かし、国道沿線の景観形成を図るだけでなく、雑草管理の効率化・維持管理費の縮減への取り組みにつながります。

また、プロジェクトチームでは、生長したハーブを地域協働で収穫し地域振興のために活用していくことや、周辺の農地においては、既に道内の空知地区で実績のある「香りの畦道ハーブ米^{*1}」のように、その防虫効果を活用した生産に取り組むことも可能であると考えており、プロジェクトの更なる展開が期待されます。

そこでこのたび、今後の具体的な展開を図るための第一歩として、旧留辺薬町で行っている「ゆずり車線」事業区間において、試験植栽に取り組むこととなりました。

*1：JAみねのぶ登録商標。畦にハーブを植え自然の力を利用して害虫を防ぐ取り組み。

試験植栽の第一歩、まずは延長20mから。

北見地域を通過する国道39号全ての延長からすると、20mは決して大規模とは言えません。また、先に挙げたような効果をすぐに得られるような規模でもありません。しかし、プロジェクトチームでは、国道周辺の土地がハーブの生育に適しているか確認するとともに、より多くの地域の方に「ハーブを知ってもらうこと」そして「ハッカを思い出してもらうこと」が、試験植栽の第一歩として重要であると考えています。

そこでまずは、市内にある仁頃はっか公園や香りゃんせ公園で感じられるハッカの香りを身近に感じてもらうことで「ハッカ香る街北見^{*2}」を少しずつ、もしくは改めて知って頂くために、小規模ながらも試験植栽を実施して、プロジェクトの第一歩を踏み出すこととしました。

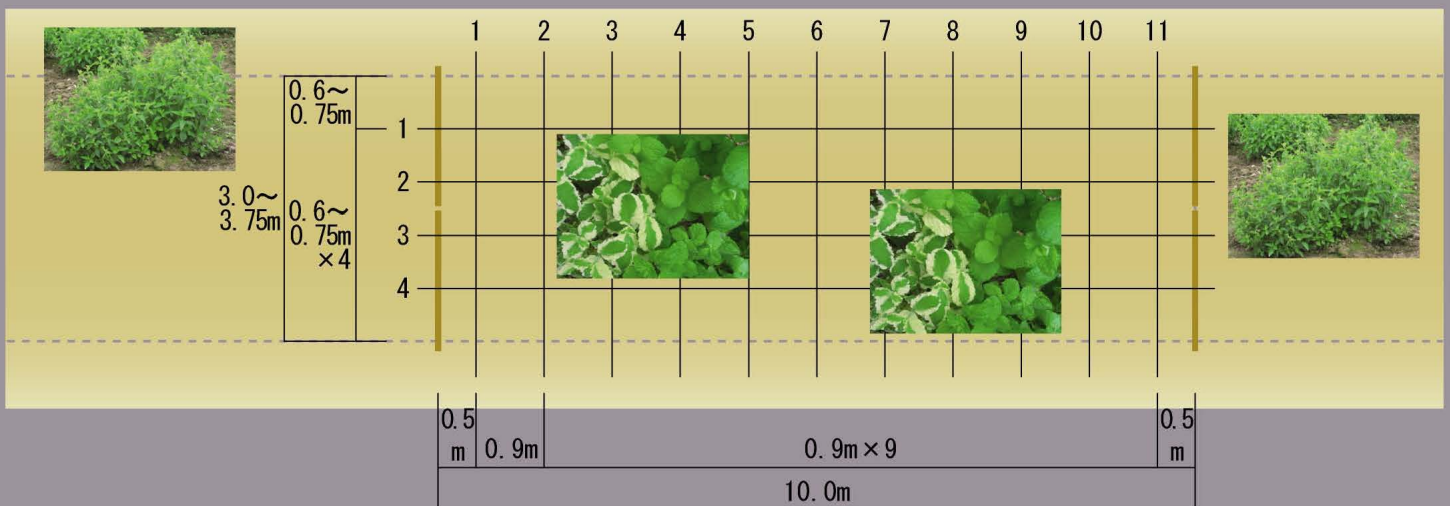
*2: 「北見のハッカとハーブ」は平成13年度に環境省「香り風景100選」とともに、「北見市のハッカ製造関連遺産」は平成19年度に経済産業省「近代化産業遺産」に認定されており、道外においても広く知られている。

試験植栽には、このように取り組みます。

今回の試験植栽は、プロジェクトチームメンバーと、その事務局であり国道を管理している北見道路事務所が主体となって進めます。将来的には、地域の方々のご理解・ご協力を得ながら、ともにプロジェクトに取り組むことが理想的であると考えておりますが、まずはとにかく「知ってもらう」ことが重要だからです。もちろん、既にご興味を持っておられる方のご参加・ご協力は、いつでも大歓迎です。

具体的には、20mのうちの中心10mにはアップルミントやオーデコロンミントなどのミント類を、そしてその両端には、夏の間にたくさんの栄養を蓄えたニホンハッカの「根^{*3}」を植えます。さまざまなハーブを組み合わせることも考えられますが、まずはハッカ・ミント類のみとすることで、来春以降に「ハッカ香る」ことを期待しています。

*3: ハッカ・ミント類は地下茎でよく増えます。そこで「ニホンハッカ」は、収穫後の9月末以降に地下茎を株分けして植栽することとしました。



【試験植栽概要】

- 実施日程：2008年09月01日(月) 14:00～(2時間弱)
- 実施箇所：北見市留辺蘂町昭栄第一区(八号線と九号線の間地点)
- 植栽種：オレンジミント、アップルミント、ペパーミント、スペアミント、オーデコロンミント、パイナップルミント、ニホンハッカ(ホクト・9月下旬以降に植栽)
- 主催：ハーブ国道プロジェクトチーム
- 事業主体：国土交通省網走開発建設部北見道路事務所



その他の
ご質問や
お問い合わせ
については…

下記宛まで
どうぞ。